

彦根東 2-0 兄弟社

サッカー

準決勝

兄弟社を破り、決勝へ

▶ゴールを決める直前の寺本君



1月26日にビックレイク(野洲市)で高校サッカー新人大会の準決勝、彦根東対兄弟社戦が11時25分から開始された。結果、2対0で勝利し、同日13時30分から開始された決勝戦へと駒を進めた。



速報新聞

キマグレ

発行所
彦根東高等学校
新聞部
彦根市金亀町4番7号

▶ボールを奪おうとする柴田君



サッカー部は1月25日に行われた試合で光泉高校に勝利し、準決勝に進出した。対戦相手は野洲高校に勝利した近江兄弟社高校だ。円陣を組んで気合を入れて始まった試合。前半5分で背番号11番の柴田昂輝君(2-7)が先制点を決めた。それからも敵陣地を果敢に攻め続け、後半7分に8番の寺本大智君(2-4)が2点目を決めた。チームは明るい雰囲気の中で声をかけ合い、そのまま最後まで守り抜いた。結果2対0で勝利。同日、13時30分から開始された決勝戦への進出が決定した。



▶円陣を組むレギュラーメンバー

副キャプテンで1点目を決めた柴田君は「無我夢中で蹴つたら入った。前半5分で点が取れたおかげで、安心した気持ちで試合に入り込むことができた。今まで無失点で来たので、今回も点が取れば勝てると思ったから本当に良かった」と頬を緩めた。2点目を決めたキャプテンの寺本君は「最後まで集中して試合ができた。一人ひとりがするべき役割を果たして良かった」と試合を振り返った。また、決勝戦に向けて「予選からずっと無失点でここまで来た。決勝戦も無失点で勝てるようにベストを尽くしたい」と意気込んだ。キーパーの郡田和明君(2-5)は「キーパーとしてすることが無いくらい皆頑張ってくれたので良かった」

▶競り合う左崎敦也君(2-1)



と微笑み「決勝戦も無失点にしたい」と力強く話した。試合に出場した3番の嶮南秀敏君(2-6)は「皆が一致団結して勝ちを取りに行った結果勝ったので嬉しい」と、2番の野村政彰君(2-3)は「早い時間に点がとれたので良い試合運びができた。ディフェンダーからしっかり守れたので良かった」と、19番の加藤丈使君(2-1)は「今までの練習の成果が出せて良かった。決勝戦では良いクロスをあげられるように積極的に動いていきたい」と話した。また、予選からここまで無失点で勝ち進んでいるので決勝戦への意気込みを聞くと皆、口を揃えて「次も無失点で勝ちたい」と満面の笑みを見せた。